

作成日: 2016年07月27日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: クールミンKK

製品番号(SDS NO): Coolmin_KK_J-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 防錆材

供給者情報詳細

供給者: クールミン株式会社

住所: 神奈川県川崎市川崎区田町3-13-2

電話番号: 044-280-7639

FAX: 044-280-7649

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

吸引性呼吸器有害性: 区分 1

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 3

水生環境有害性(長期間): 区分 3

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
潤滑油基油	80 - 90	非公開	非公開
潤滑油添加剤	20未満	非公開	非公開
2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール	0.1 - 0.9	128-37-0	3-540;9-1805
鉛油(無添加)	4 - 6	非公開	非公開
高級脂肪酸エステル	1	非公開	非公開

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

鉛油(無添加)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール ; 鉛油(無添加)

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

不適切な消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

裸火または他の着火原に噴霧しないこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

(鉍油(無添加))

日本産衛学会(1977) 3mg/m³(鉍油ミストとして)

(鉍油(無添加))

ACGIH(2009) TWA: 5mg/m³(I) (上呼吸道刺激)

(2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール)

ACGIH(2001) TWA: 2mg/m³(IFV) (上気道刺激)

管理濃度データなし

ばく露防止

設備対策

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状: 液体

色: 淡褐色

臭い: 僅かな臭気

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点/凝固点: -5°C(流動点)

引火点: (クリーブランド開放式) 186°C

自然発火温度: 200 - 410°C

比重/密度: 0.872g/cm³(15°C)

溶解度

水に対する溶解度: 不溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

常温で暗所に保管された場合、安定である。

混触危険物質

酸化性物質、強酸化性物質、ハロゲン類、アルカリ類

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール)

rat LD50=2450 mg/kg (DFGOT vol.23, 2007)

[会社固有データ]

ラットLD50 5000mg/kg以上(基油)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール)

rat LD50 > 2000 mg/kg (SIDS, 2002)

[会社固有データ]

ラットLD50 5000mg/kg以上(基油)

急性毒性(吸入)

[会社固有データ]

ラット吸入(ミスト) LC50(4h) 5mg/L以上(基油)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[会社固有データ]

基油について、ウサギによる複数の皮膚刺激試験において、皮膚刺激性に区分する結果は得られていない。

基油について、長期間又は繰り返し接触した場合には、皮膚脱脂による皮膚炎を起こす可能性があるの
で注意すること。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール)

ラビット 72時間後に回復 (SIDS, 2002)

[会社固有データ]

基油について、ウサギによる複数の眼刺激試験において、眼刺激性に区分する結果は得られていない。

感作性

呼吸器感作性

[会社固有データ]

基油についての有用な情報なし。

皮膚感作性

[会社固有データ]

基油について、モルモットを用いた複数の試験(ビューラーテスト)において、いずれも感作性なしとの
結果が得られている。

生殖細胞変異原性

[会社固有データ]

基油について広範な変異原性試験(in vivo及びin vitro)が実施されているが、大部分の結果から変異
原性を示す結果は得られておらず、生殖細胞変異原性を示すと判断する。

復帰突然変異原性試験(エームス試験)

[会社固有データ]

基油のエームス試験においてMutagenicity Index(MI)が0.0との報告がある。

発がん性

(2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール)

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール)

ACGIH-A4(2001): ヒト発がん性因子として分類できない

[会社固有データ]

IARCでは、高度精製油はグループ3(人に対する発がん性について分類できない)に分類され、ACGIHの提案もほぼ同様の分類と言える。EUによる評価では、発がん性物質としての分類は適用される必要はない。基油についての各種動物への皮膚暴露試験から得られた知見により発がん性はなしと判断されている。

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール) cat.2; SIDS, 2002

[会社固有データ]

基油について、ラットにおける複数の発育試験および生殖毒性試験において、発育毒性および生殖毒性を示す結果は得られなかった。

催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分外]

[会社固有データ]

基油について、急性試験による各種特定標的臓器への単回暴露毒性は認められていない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分外]

[会社固有データ]

基油について、経皮及び吸入投与による4週間から2年間の反復毒性試験を行ったが、全身に対する影響は確認されなかった。

特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)データなし

吸引性呼吸器有害性

[区分1]

[会社固有データ]

40°Cの動粘性率が20mm²/s以下の炭化水素でありヒトの摂取により肺への吸引を起し、その結果油性肺炎または化学性肺炎をもらたすとの報告がある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に有害

長期継続的影響により水生生物に有害

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=0.84mg/L/48hr (環境省, 1999)

[会社固有データ]

本製品は水にはほとんど溶解しないため、水生生物への汚損を生じる。

魚類(ファットヘッドミノー 96時間) LL50 100mg/L以上 (基油)

甲殻類(オオミジンコ 48時間) EL50/NOEL 10,000mg/L以上 (基油)

藻類(セテナストルム) NOEL 100mg/L以上 (基油)

基油は難分解性のため、上記試験においては調整されたWAF(水適応性画分)を試料として用いている。

上記試験結果から基油について水性環境有害性なしと判断する。

水生毒性(長期間) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール)

魚類(メダカ)ELS NOEC=0.053 mg/L(環境省生態影響試験, 2007)

[会社固有データ]

本製品は水にはほとんど溶解しないため、水生生物への汚損を生じる。

魚類(ファットヘッドミノー 14日間) NOEL 100mg/L以上(基油)

甲殻類(オオミジンコ 21日間) NOEL 10mg/L以上(基油)

微生物の発光試験(4日間)による発光の抑制は確認されなかった。(基油)

基油は難水溶性のため、上記試験においては調整されたWAF(水適応性画分)を試料として使用している。

上記試験結果から基油について水生環境慢性有害性なしと判断する。

水溶解度

(2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール)

0.00006 g/100 ml (25 C) (ICSC, 1999)

残留性・分解性

(2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール)

急速分解性がなく(BODIによる分解度:4.5%(既存点検, 1979))

[会社固有データ]

基油について、生分解試験結果は31%(28日間)であることから、本質的生分解性を有するが、易生分解性ではないと判断する。

生体蓄積性

(2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール)

log Pow=5.1 (ICSC, 1999); BCF=2800(Check & Review, Japan)

土壌中の移動性

[会社固有データ]

基油について、類似基油のLog KOCは3以上と推測され、地表で漏出した油は土壌に吸着されることにより地下水へ流出することは考えにくい。

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

その他情報

[会社固有データ]

微生物の発光試験(4日間)による発光の抑制は確認されなかった。(基油)

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

鉱油(無添加)

有害物ばく露作業報告対象物質(平成28年対象・29年報告)

2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール ; 鉱油(無添加)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第4類 引火性液体第3石油類非水溶性 危険等級 III

化審法

優先評価化学物質

2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール(政令番号64 生態影響)

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

水質汚濁防止法

指定物質

2,6-ジ-tert-ブチル-4-クレゾール

法令番号 55

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成26年度)、および製造メーカー公表データに基づいております。